

倉敷市公共サインガイドライン

サイン整備の基本的考え方

■サイン整備の目標

倉敷市交通バリアフリー基本構想の理念である「ひと、輝くまち 倉敷」を踏まえ、だれもが安全に、安心して移動できるまちの実現に向けたサインシステムの実現を目指します。

■基本的考え方

市民への思いやりの心・来訪者へのおもてなしの心を重視し、だれもに安心感を与えられる情報提供による、地域特性を考慮したサインを整備します

だれもが安全・安心して移動できる
システムづくり

思いやり・おもてなしの心
=目的地までの円滑な誘導案内機能の整備

地域特性を考慮した、
快適なまちづくりへの貢献

サイン整備方針：ガイドラインとして定める整備の方針・基準

表示デザイン基準 配置・施設整備方針 表示内容基準 ユニバーサルデザイン・景観への配慮方針

サイン活用方針：誘導案内機能の活用のために定める方針

他メディアとの連携 維持管理方針

表示デザイン基準 ～表示面のレイアウト、表示の方法などに関すること

■レイアウトに関すること

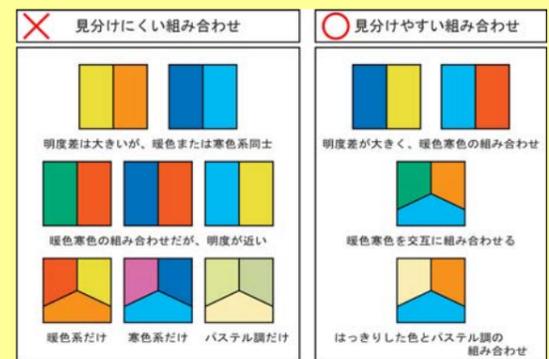
- 遠くからでも認識しやすい書体として、**ゴシック系**の書体を使用します。
- 文字のサイズは、**視距離に応じたサイズ**を選択します。やや遠距離から見る誘導サインは、視距離 15mと想定し、主要な施設名称の文字サイズは 60 mmとします。
- だれもが読みやすいことに配慮し、文字や図表示では**5以上の明度差を確保**します。また、高齢者の視力低下や色覚バリアフリーに配慮し、**見分けやすい色の組み合わせ**による表示が必要です。(右図参照)
- 案内マップのレイアウトは、誘導案内に**必要な情報をシンプルに表示**するデザインとします。

■表示方法に関すること

- 言語によらず多様な人に意味を伝えられるよう、**ピクトグラム(案内用図記号)やマークを積極的に活用**します。
- 矢印は視認性の高いシンプルなデザインを使用し、だれもが誤解なく理解できる移動方向を表示します。

■表示部の構造に関すること

- 車いす使用者や視力の弱い人等に配慮し、**表示面の中心は 1250 mm高さ、案内マップ表示面は 1 m 四方以内**を目安とします。(右図参照)



配置・施設整備方針 ～施設の構造・デザインや、配置位置などに関すること

■施設の設計・施工に関すること

- 車いす使用者や視力の弱い人が、**できるだけ近づいて表示面を見ることのできる構造**とします。
- 主要な案内サインは、夜間でも利用できるよう**照明設備の設置**が必要です。

■施設の配置や整備に関すること

- サイン施設は歩行者の円滑な移動を妨げない位置に配置します。
- サインの顕在性を高めるために、「**インフォメーションマーク**」を設置します。
- 案内マップは、原則として向かって前方を上として設置します。(右図)
- 案内マップの縮尺は、求められる用途に応じた縮尺を設定します。

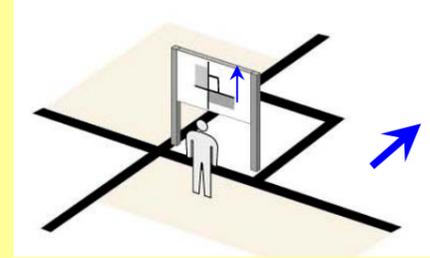


図 周辺案内マップの向き

■施設デザインに関すること

- 案内サインは原則として**独立板型の施設**とします。
- 施設デザインは、景観に調和するシンプルなものとし、同一経路上のサインは統一されたデザイン・色調のものとし、

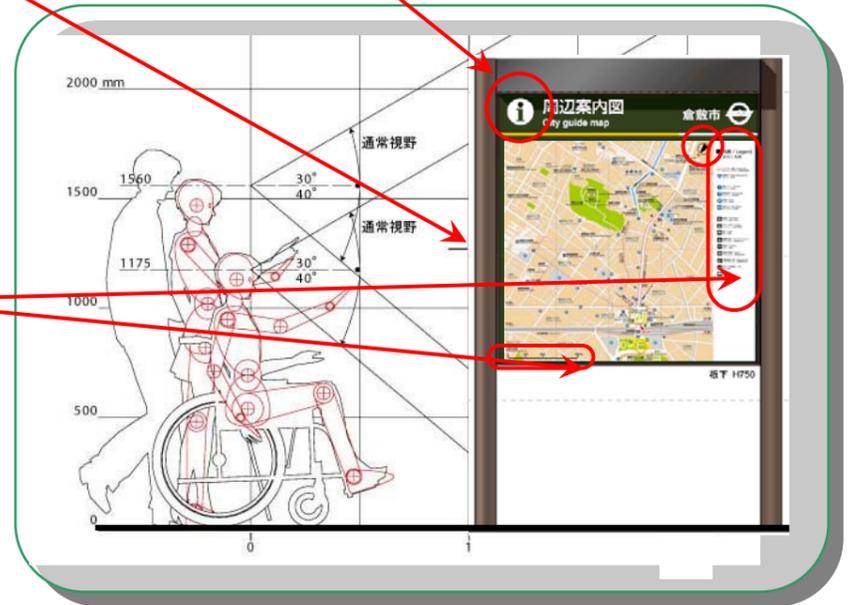
表示内容基準 ～案内マップへの記載情報や、名称の表記に関すること

■案内マップに関すること

- 案内マップに表示する情報は、明確な基準により掲載されることとします。
- だれもが分かりやすい**凡例・方位マーク・スケール**を記載します。
- 表示面以外の見えやすい場所に、現在地の住所及び管理者名・連絡先等を記載します。

■マップ面表記に関すること

- 施設名称等は、必要に応じて省略・簡略化して表記します。ただし、設置する全サインと配布される観光案内地図との表記に一貫性が必要です。
- 普通名称は英語表記、固有名称はヘボン式のローマ字表記とします。



ガイドラインにもとづく案内サイン施設例

ユニバーサルデザイン・景観への配慮方針

- 外国人来訪者にとって分かりやすい誘導案内を行うために、凡例の4カ国語表示、ピクトグラムを活用、矢印記号の使い方等に配慮します。
- 車いす使用者や歩行困難者がサインを利用する場合を考慮し、見やすい距離までの近づきやすさ、設置箇所周辺の環境整備、施設の安全性等に配慮します。
- 文字やピクトグラムのサイズや色づかい、表示面の高さ等については、視覚障害者や視力が低下した人に十分配慮します。
- サイン施設は、誘導案内に不要な造形や過度な装飾は避け、だれもが一目で認識できるように、できるだけシンプルで景観に調和するデザインとします。

サイン活用方針

■他メディアとの連携

- 観光コンベンションビューロや様々な情報メディツールと連携し、役割を分担するとともに、情報の内容や表示基準について整合を図ります。

■維持管理方針

- 設置されたサインの定期的かつ継続的な清掃・保守点検を実施します。
- 表示すべき情報内容や情報更新について適切な管理が行えるよう、横断的な体制づくりが必要です。